

Learning to work with letters and numbers

Family resources

文字と数字を用いた学習

ご家庭向け資料

Early Years Learning Framework (幼児期学習フレームワーク) は、プリスクールおよびその他の幼児教育サービスで用いられている全国的な学習の枠組みです。この枠組みでは、子どもたちの健全な成長および学習能力の促進をサポートする5通りの学習成果を通して、教育および学習の方法が紹介されています。

第五の学習成果 (Learning outcome 5) は、子どもたちが効果的にコミュニケーションできるようになることです。これは、子どもたちが言語について学び、会話や物語、歌などの音声やパターンを聞き分けて反応できるようになることを意味します。子どもたちは、毎日の生活の中でテクノロジーを活用し、新しい情報について調べ、自らの考えを表現することができます。彼らは数字、計算、測定、図形を含む数学の概念について学びます。

Early Years Learning Framework についてさらに詳しい情報をご希望の方は下記ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.acecqa.gov.au/nqf/national-law-regulations/approved-learning-frameworks>

電話通訳サービス

さらに詳しい情報をご希望の方は、お子さまのプリスクールまたは幼児教育サービスまでお問い合わせください。お問い合わせの際に通訳を希望される方は、電話通訳サービス (TEL: 131 450) をご利用いただけます。オペレーターが電話に出たら、日本語の通訳をご指定のうえ、相手先の電話番号をお伝えください。通訳が電話を介して会話をお手伝いします。このサービスは無料でご利用いただけます。

学校での学習

児童・生徒は自らの考えを展開および表現することができる (科目: 英語と数学)

幼児期学習

子どもたちは物語や歌などを聞き、理解し、また自ら創作もできる

児童・生徒は「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」ことでコミュニケーションを行うことができる (科目: 英語と数学)

効果的に コミュニケーション できるとは

子どもたちは、自らの文化的背景に由来する物語を、自らの言葉で他者と分かち合うことができる

児童・生徒は、毎日の生活の中で数学の知識を活用することができる (科目: 数学)

子どもたちは、日常生活の中で数字を用い、簡単な計算や測定ができることを理解している

子どもたちは、音楽やロールプレイ、芸術やダンスを通して学んだことを他者に伝え、分かち合うことができる

児童・生徒は、学校および毎日の生活の中でテクノロジーを用いて他者とコミュニケーションを行うことができる (科目: 情報通信技術)